

栄養委員会

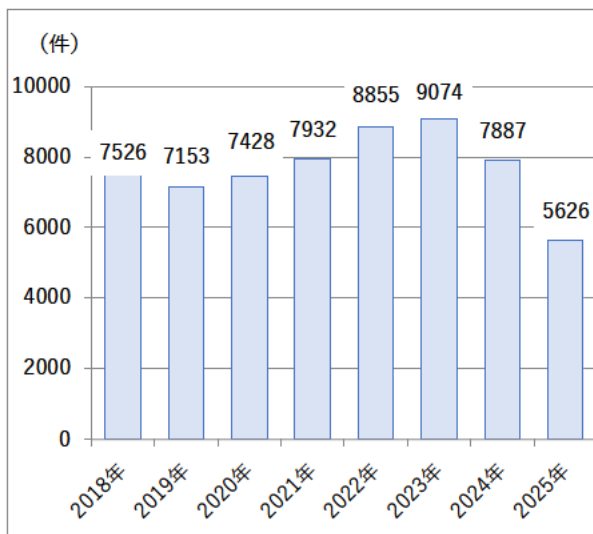
委員長 塚田 暁

概要

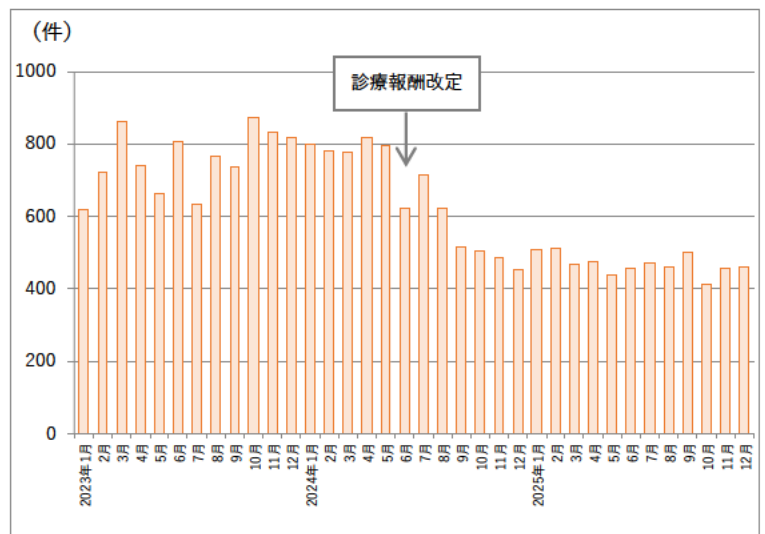
栄養委員会の構成メンバーは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、言語聴覚士、SRL、aim サービススタッフです。栄養委員会では、主に栄養サポートチーム（NST）活動および病棟での日々の栄養サポートの実態報告や栄養サポートに関する問題の共有を行っています。

栄養サポートチーム加算算定数

医師、看護師、管理栄養士、薬剤師が構成メンバーとしてチームで栄養サポートを実施することで、栄養サポート加算が算定可能となります。栄養サポートチーム加算算定数は、2025 年は 5,626 件で、月平均は 469 件でした。昨年の 7,887 件（月平均 657 件）に比べ大幅に減少しました。その要因として 2024 年 6 月より診療報酬改定にて、NST 加算対象患者の条件が「A1b 3.0g/dl 以下」から「GLIM 基準による低栄養診断と判定」へ変更となり、対象患者数が減少したと考えられます。また、2024 年 9 月よりリハビリテーション栄養口腔連携体制加算の算定を開始し、NST 加算と同時算定ができないことも影響していると考えられます。



年間 NST 加算数の推移

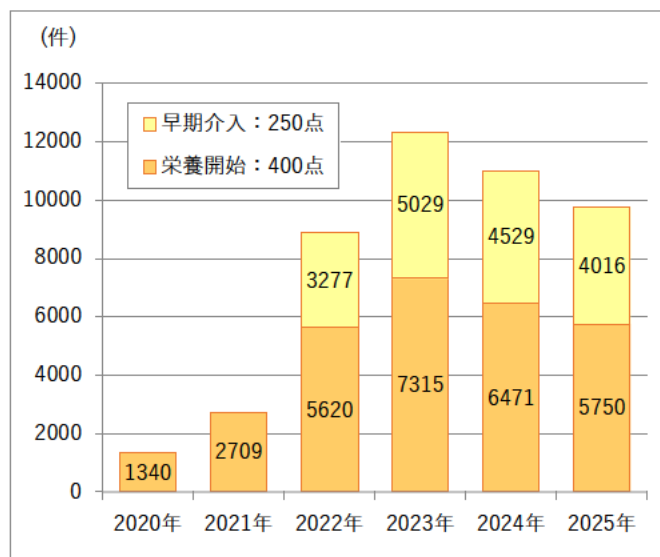


月間 NST 加算数の推移

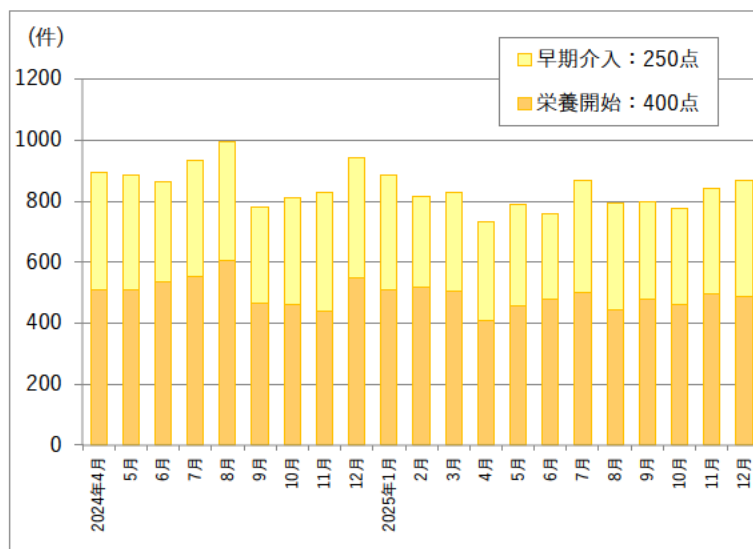
早期栄養介入管理加算

2020 年 4 月より、早期栄養介入管理加算の算定を開始しました。2022 年 4 月から、対象病棟が拡大し特定集中治療室（ICU）に加え、救命救急病棟、ハイケアユニット（HCU）、脳卒中ケアユニット（SCU）が対象となりました。また、入室 48 時間以内に管理栄養士が介入することで 250 点が算定でき、栄養が開始された場合 400 点の加算算定が可能となりました。

当院では、集中治療室に管理栄養士が常駐しており、早期からの栄養介入を実施しています。特に ICU では毎朝、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士などの多職種による回診を実施しており、治療方針や栄養管理、薬剤管理、リハビリテーションについて情報のすり合わせを行なっています。



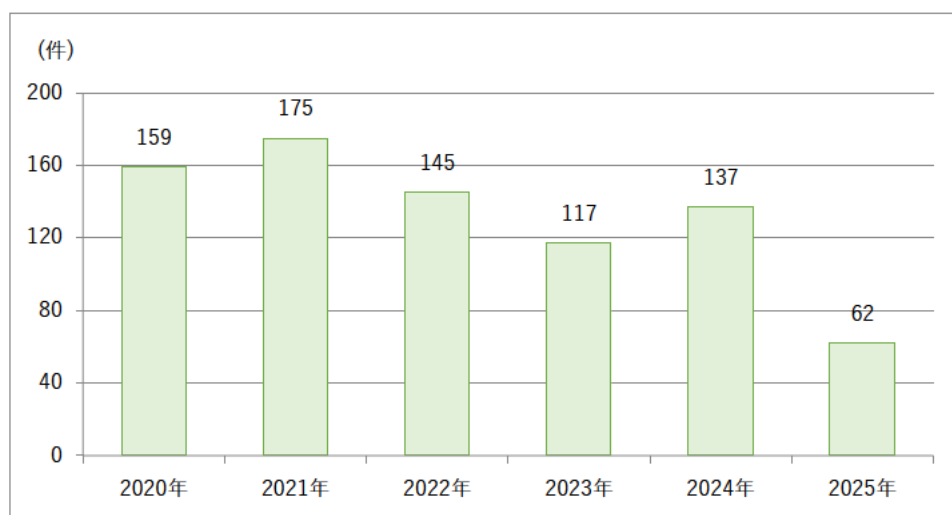
年間早期栄養介入管理加算数の推移



月間早期栄養介入管理加算数の推移

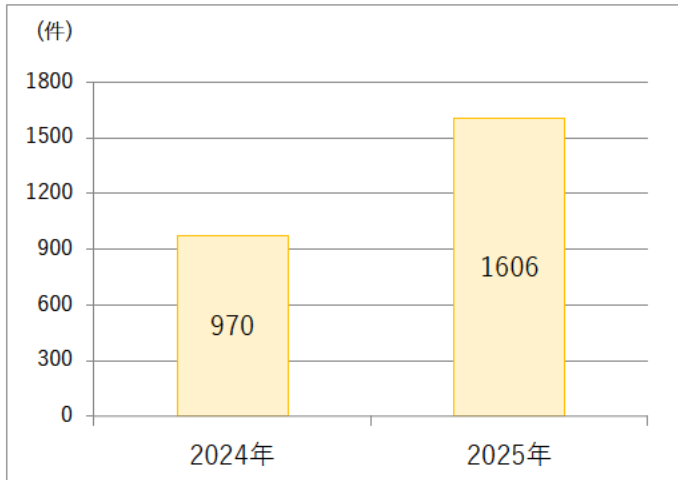
退院時共同指導 2

2020年4月より退院時共同指導2の加算算定を開始した。他職種と共同し必要な患者に対して、算定を行なっています。

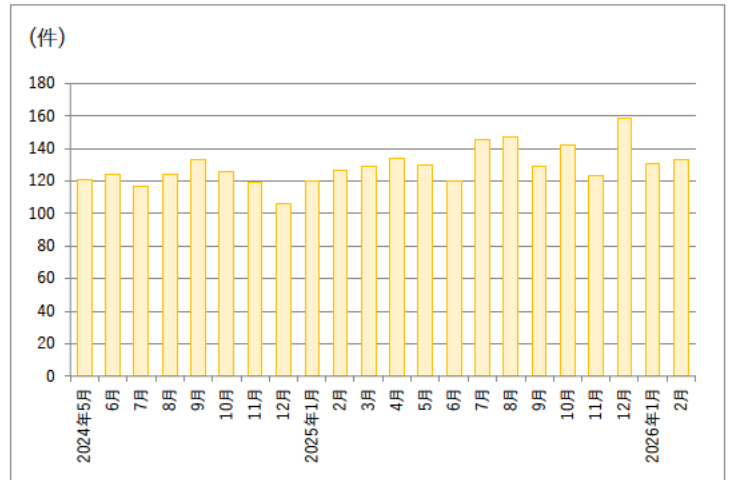


退院時共同指導 2 加算算定数

周術期栄養管理実施加算



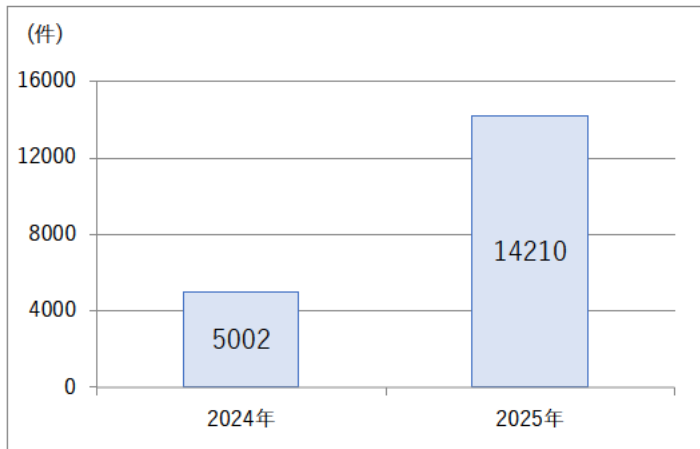
年間周術期栄養管理実施加算算定数の推移



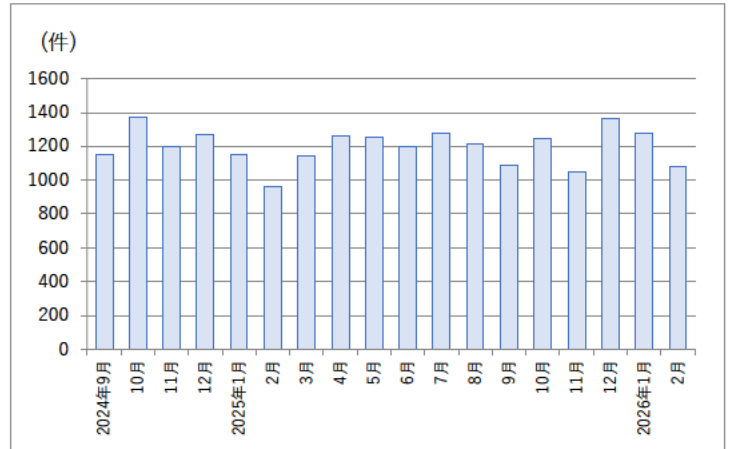
月間周術期栄養管理実施加算算定数の推移

2024年5月より、周術期栄養管理加算の算定を開始しました。月平均134件程度の算定数であり、現在は消化器外科、泌尿器科、乳腺外科、整形外科にて算定を開始しています。

リハビリテーション栄養口腔連携体制加算



年間リハビリテーション栄養口腔連携体制加算の算定推移



月間リハビリテーション栄養口腔連携体制加算の算定推移

2024年9月より、リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算の算定を開始しました。看護部、リハビリテーション部、臨床栄養部が協働して、対象病棟へ入室した患者に対して入室48時間以内に介入、評価を行っています。多職種カンファレンスは365日毎日実施しています。

研修・見学者

臨床栄養部では、院外から臨床栄養研修や NST の見学を積極的に受け入れています。当院の栄養サポート研修は 4 つあり、研修・見学者の希望に応じて対応を行なっています。2022 年は 56 名、2023 年は 86 名、2024 年は 110 名、2025 年は 105 名と推移しています。

さらに、2023 年より日本栄養治療学会の NST 専門療法士認定教育施設に認定され、認定教育施設臨床実地修練（40 時間の臨床実地修練）の受け入れを開始いたしました。2025 年は 25 名の方の研修を受け入れました。また、日本栄養士会、日本健康・栄養システム学会関連の研修も適宜受け入れています。

研修・見学者数

研修		見学	
NST 専門療法士研修（40 時間研修）	25	管理栄養士	15
職種 管理栄養士 16 名 看護師 4 名 薬剤師 4 名		学生	56
		看護師	1
		薬剤師	1
		医師	2
		その他	3
その他の研修（看護師）	2		
合計	27	合計	78
研修・見学者総数			105